

# 太宰府の文化財

420

## 夜泣き石地蔵 宰府5丁目

太宰府天満宮の北方350m、車が行き交う県道から下った御笠川の傍らに、ひっそりと夜泣き石地蔵と

いう大きな石と祠ほらがあります。その大石は上面が平らになっており、「その平らな石の上に夜泣きの赤

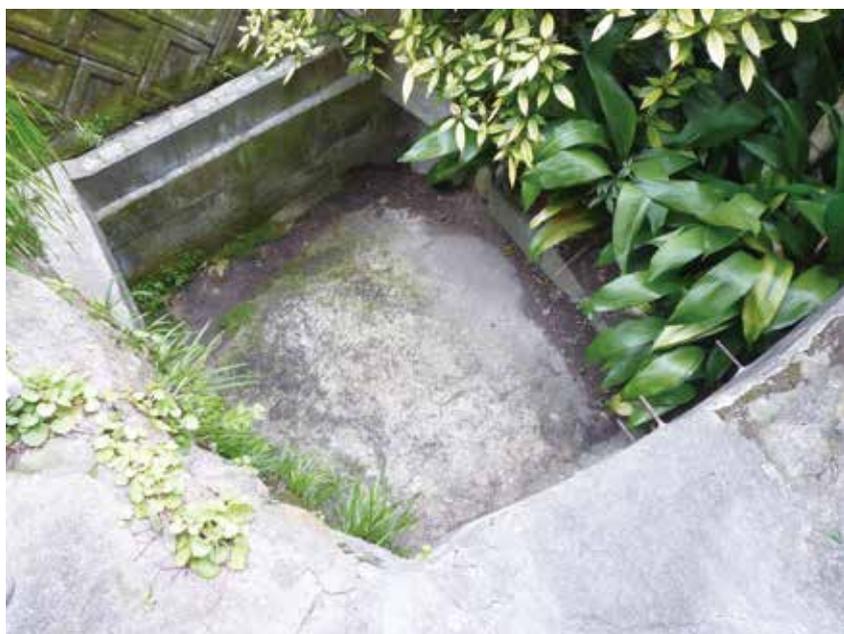
ちゃんを寝せると、夜泣きがなおる」と言い伝えられています。むかしお参りした後には、七色のお菓子を供えていたそうで、祠の前に置かれていたお菓子を見ると、近所の人は「誰か赤ちゃんを寝かせに来たんだなあ」と話していたそうです。現在その大きな石は草木に囲まれ、石の上にも見ることが難しくなり、赤

ちゃんを石の上に寝かせに来る人はいませんが、今でも傍らにある祠にお参りに来る人はいるということです。このような夜泣き地蔵や夜泣き石と呼ばれるものは全国各地にあり、近隣では大牟田市や佐賀県みやき町にもあります。その中には泣き声が聞こえるという伝承を持つ石もありますが、このことと同じくお参りすると赤ちゃんの夜泣きが収まるという伝承のものも多く、今も昔も育児の苦労がしのばれる伝承と言えます。この夜泣き石地蔵の大石は、その周りが宅地の下に隠れるほど大きく、見えているのは巨大な岩のほんの一部と考えられています。古来より、人々は巨石や巨樹に言い知れぬ力を感じ、神が宿ると考えていたように、この大石に不思議な力を感じた人々は、その力に夜泣き解消を期待したのかもしれませんが、ここは今でいうパワースポットなのかもしれません。

(都市計画課 宮崎亮一)



夜泣き石地蔵の祠



上から見た夜泣き石地蔵の大石